

## 令和7年度 第1回 岡山市障害者自立支援協議会 運営会議（議事概要）

日時：令和7年4月24日（木）9：30～11：30

場所：岡山ふれあいセンター 第1研修室にて

### 1. 開会挨拶

#### ○岡山市障害者自立支援協議会 中山会長

お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。顔を合わせての意見交換が出来る場ができることがとても貴重な機会となりありがたい。

自立支援協議会のキャッチフレーズがシンプルかつ高い目標であると改めて思った。「障害のある人もない人も安心して暮らせるまちづくり」という高い目標を心に刻み、日々の連携、協議会の活動に取り組んでいけたらと思います。

#### ○岡山市障害福祉課 平井課長代理

地域の皆様のニーズに対応し、より良い支援体制を築いていきたい。複雑で困難な課題を抱える方も多く、大変だと思うが、共に連携しながらやっていきたい。

### 2. 自己紹介

### 3. 活動報告

#### 【東部地域部会】 開催：毎月第2水曜日

#### ○3月定例会

・連絡ツールにLINEワークスを使用していたが、人数制限を超えると有料になるため、別のツールの活用を検討。MCS（メディカルケアステーション）の説明を医師会の方に来てもらい説明を受けている。

→5月末を目途にMCSへの移行を完了させる予定。

・「主任相談支援専門員との茶話会♡」を4月以降実施予定。

#### ○4月定例会

・今年度の活動について協議。いろんな機関の説明を受けたいとの声あり。

例：ひかりんく など

・5月には岡山県就業・生活支援センターの方から「就労選択支援」の説明を受ける予定。

・「相談支援専門員が個別支援計画をサービス提供事業所からもらっている？」という話題あり。

#### 【中央北地域部会】

#### ○3月定例会

- ・ GSV（グループスーパービジョン）の実施。

テーマ「非行の心配がある中学生の支援について」

助言：ストレングスに着目、発言の背景を考えてみること、本人の発散を考えるなど

○4月定例会

- ・ 全体会の報告。各部会担当者から報告し、共有。
- ・ 新しい事業所の紹介など
- ・ 定例会の前にコアメンバーで集まり、役割分担を確認した。研修の企画、相談支援機能強化型事業所の参画方法について検討。

○地域移行WG（ワーキンググループ）

- ・ 月1回定例で開催。勉強会などを企画し、WGの参加者増加についての検討を実施。

【南西地域部会】 開催：毎月第2・4金曜日

○3月、4月定例会

- ・ 4月1回目は、37名の参加があった。協議会の専門部会の説明を実施した。

（事業所情報）

・ 相談支援事業所の廃止（R7年4月から）：ハートスイッチ相談支援事業所岡山、相談支援事業所うえまつ

- ・ 相談支援事業所の開設：茶屋町地域生活支援センター（南区西も対象エリアで業務予定）。

- ・ サニーライフ：就労継続支援A型からB型へ事業形態変更。

（日中支援型GH（グループホーム）の評価について）

主体者であるGH側から自発的に地域部会へ連絡をする仕組みへ。

開催予定：6月 12月

（研修関係）

- ・ 9月にミニ研修会「個別避難計画」「BCP（事業継続計画）」などをテーマ候補。

- ・ サービス管理責任者（サビ管）と相談支援専門員との意見交換会

開催予定7月3日、12月22日

（その他の話題）

- ・ 相談支援専門員の働き方、業務効率化、ICT活用など。
- ・ 相談支援専門員の次世代の人材育成について。なりたい人も少なからずいるはずだが…。
- ・ 精神科訪問看護の特色（対応研修）が分かりづらい。
- ・ 昨今の就労継続支援A型問題について。そもそもAとBの違いって…？

（地域の問題）

・ 両親が共働きの小学生。登校時間と保護者の出勤時間が合わず1時間空白が出来てしまう。ヘルパーも見つからない状況。福祉サービス対応するだけでなく、保護者の会社に出勤時間の配慮がもらえないか相談するなどのアイデアが上がった（合理的配慮の視点）。

○3月研修：サビ管と相談支援専門員との連携

- ・サビ管2名が登壇し、サービス等利用計画と個別支援計画との連動をテーマに研修。
- ・講義の後「個別支援計画作成時に大切にしていること」をサビ管2名と相談員1名に鼎談形式で話してもらい、その後グループワークで持参した計画書を見ながら連動の確認を行った。

【広報部会】 開催：第2火曜日（4月は第3に開催）

- ・メンバー変更：東部地域部会から「あしすと」「かけはし」が加わる。
- ・えんじゃネットと障害者のしおりの整合性を高める作業をクローバーへ依頼。細かい調整まで対応してくださっている。
- ・空き状況を各事業所が直接書き込んで更新できる仕組みを作れるよう、素案のページを作成している。設備投資など費用面の相談が必要になりそう。今後クローバーの強みを活かした別の仕事に取り組むことができるかもしれないと期待。

【福祉サービス部会】 開催：毎月第3火曜日

○3月定例会

- ・3月6日に研修会を開催。その振り返りを行っている。
- ・GH連絡協議会設置の動きを考えている。業務として参加できる形、横の繋がりを作れる形を考えている。

○4月定例会

- ・今年度の動きについて確認。
- ・B型連絡会設置後の動きを共有。部会から独立した活動ができるよう見守っていく。
- ・4月にコア会議、7月に全体会を開催予定。
- ・障害福祉課より「福祉の魅力発信事業」の動画作成にむけてのアイデア出しを次回行う予定。

【教育部会】

○3月定例会

- ・移行支援会議の振り返り。
- ・今年度から部会長変更。中村誉先生になる予定。

（地域の問題）

- ・措置入所していた児童が卒業後に施設入所支援と自立訓練を使うための意見書作成について。相談支援に意見書の作成を求められたが、卒業後の関わりになるので、情報のない中での作成が難しい。児童相談所にも協力してもらえないか。

（ワーキンググループ）

- ・情報発信WG：フクセツ・キッズの作成について話し合い。6月の全体会でお披露目予定。

・座談会 WG：2月の支援学校と相談支援専門員との座談会の振り返り。今年度は8月8日に開催予定。

**【就労支援部会】** 開催：毎月第3金曜日

・福祉サービスの仲介サイトについての周知。有料での仲介は法律上禁止されていることを厚生労働省から通知があったことを共有。

・奇数月に全体会、偶数月にコア会議を開催する形式にしている。コア会議で地域の問題を一旦協議し、全体会でアドバイザーを交えて意見交換している。

・ワーキンググループ「触法障害者の就労支援について」「就労選択支援について」議論を行っている。

○3月定例会

(地域の問題)

・A型利用者で1人目の出産のときには産休が取れたのに2人目を考えていると伝えると産休をとることができず辞めないといけなかったという話題について。法律上産前産後休暇を取らせないというのは禁止だが、出勤できない利用者を雇っておくことが難しいのは報酬改定の影響もあるのかもしれないという話題になった。

・就業生活支援センターへの支援学校卒業後登録者が1.5倍に増えた。A型問題の影響か？受け入れにも限界が出てくるので、「たまりば」や他の相談場所の活用も考えていく必要あり。

○4月定例会

・運営の確認、自己紹介、今年度の活動計画の確認。

・就労継続支援A型事業所閉鎖後、離職したの利用者の状況について確認。焦っている利用者もいる一方で、ハローワークでは積極的な就職活動に窓口へきている人が少ないという印象もあると話があった。

○「社会への一歩サポートフェス」について報告

・2月に開催。8つの機関が参加。来場者35名、視察10名。

・たどりつきチャートを活用して支援機関の紹介を実施。

**【精神保健福祉部会】**

○2月定例会

・令和6年度の振り返り、令和7年度の活動計画について協議。

・令和7年度は診療所やクリニックとの連携を企画。

○4月定例会

・参加病院の変更：山陽病院→河田病院。

・障害分野と高齢分野との連携について考える場を部会として企画していく。合わせて、クリニック、入院病床を持たない精神科との連携についても企画する。

### ○8050 問題についての報告

・地域包括支援センターへのインタビューをまとめて、地域包括支援センターのセンター長会議で報告。

・各機関がお互いに一步踏み込んで歩み寄る支援をすることが重要。電話でもいいが、直接会って顔の見える関係性になり、直接議論することも大事という意見あり。

→高齢分野からは障害者の支援に興味を持っている人は多いことが確認できた。

### 【相談支援部会】 開催：第4水曜日

#### ○計画相談研修会について

・3月25日計画相談研修会「サービス報酬、加算について」をテーマに開催。

・出席は60人以上。制度の説明、GWで各事業所の情報交換を行った。概ね有意義であったとのことだった。「取りこぼしていた加算があった」「制度は知っていたが活用方法が分からず加算をとっていなかった、今後活用したい」「相談支援において必要な動きを改めて確認する機会になった」という声があがった。今後事業の継続や相談支援専門員の増加へつながることを期待。

### 【こども支援部会】

#### ○2月定例会

・約80名の参加。

・岡山市障害者基幹相談支援センター（平松副センター長）より「問題と課題の違いについて」の講義後に、参加者と課題について話し合いを行った。

・地域課題について（別紙）

課題の一部）

・地域との交流について、保育所等訪問などにおける幼保こども園との連携について（国から求められる頻度で実施すると園側の負担になることがある）。

・サービス利用希望者に対して使えるサービスが足りない、相談支援事業所の少なさ、利用者の特性に合ったサービスが足りない。 など

○次回5月21日（水）研修センターよしい川にて開催予定。相談支援専門員の参加も募る。

### 【医療的ケア児WG（ワーキンググループ）】

・今年度も2回、研修1回開催予定。第1回を6月または7月に開催予定。各部会からの参加者をまた教えてほしい。

・専門部会等で医療的ケア児の話題が出たらぜひWGに挙げていただきたい。

### 3. 行政機関より

・「医療的ケア児のための動画制作プロジェクト」クラウドファンディングのお知らせ。

#### 4. 協議事項

##### (1) 運営会議における部会活動の共有方法について（様式の協議）

- ・地域部会：日付、場所、参加人数、内容（GSV、研修内容、地域課題、GH 評価、茶話会等、他にも話題提供）を記載。
- ・事業所情報（新規、閉鎖、変更など）は別紙「事業者情報」へ。
- ・部会構成員について：年度初めに各部会の担当者が作成。

##### (2) 発達障害者支援地域協議会および構成員について

- ・委員として自立支援協議会の会長または副会長が参加。年 1 回開催。  
→中山会長が参加
- ・その他の部会  
早期支援→みどり学園：杉安園長（継続）  
専門支援→基幹相談支援センター：平松副センター長（継続）  
地域生活・教育就労→あすなろ福祉会：小林さんは難しい？就労部会から参加できる方がいれば案をいただきたい。またご相談させていただきたい。

##### (3) 岡山市障害者基幹相談支援センターサブセンター（基サブ）のエリア分けについて

- ・東部地域  
地域活動支援センター旭川荘（中区東区）  
ぱる・おかやま（中区）  
かけはし（東区）
- ・北・中央地域  
未決定。決まり次第報告。
- ・南西  
未決定。決まり次第報告。

##### (4) 令和 7 年度 第 1 回岡山市障害者自立支援協議会について

- ・6月26日（木）AM を予定。

#### 5. 閉会あいさつ

○岡山市障害者自立支援協議会 加藤副会長

・自立支援協議会の活動はとても大切な機能だとは理解しているが、それを広く知ってもらうが大切だと思います。いろんな部会から声をかけていただければ参加したいと思っています。よろしくお願いします。